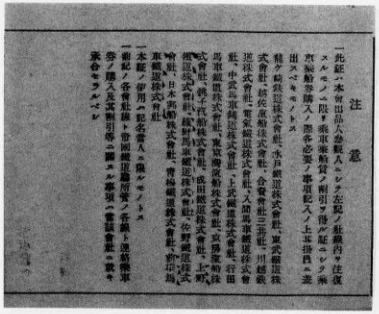
馬車鉄道



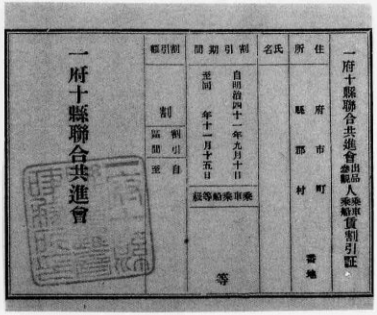
注意

一此証ハ本會出品入場証ハ左記ノ駅鐵道ヲ使用スルモノニ限リ乘車乘船賃ノ割引ヲ得ル証ニシテ乘船券購入ノ際各必要ノ事項記入ノ上其責任ニ於テ提出スベキモノトス

鐵ヲ給鉄道株式會社、信濃高瀬鉄道株式會社、東武鉄道株式會社、川越鐵道株式會社、合資會社三毛鉄、川越鐵道株式會社、横浜電気鉄道株式會社、入間馬車鉄道株式會社、中武馬車鉄道株式會社、上武鐵道株式會社、京阪電鉄株式會社、東京瓦斯株式會社、上野鐵道株式會社、東京電燈株式會社、日本新聞株式會社、東京電燈株式會社、上野鐵道株式會社、日本新聞株式會社、青梅鐵道株式會社、鹿島鐵道株式會社、

一本証ノ使用ハ記名式ニ限ルモノトス

一乘証ノ各會社線ト他関係鐵道所管ノ各線ト連絡乘車券ヲ購入及其割引等ハ一切本項ノ會社ニ於テ取合セラルベシ



一府十縣聯合共進會出品人參觀人乘車乘船賃割引証

住所	氏名	割引期間	割引額
府 市 町 縣 郡 村 番地		自明治四十一年九月十日 至同 年十一月十五日	割 割引額 区間 至

乘車乘船等級

等

一府十縣聯合共進會

汽車馬車鐵道

時刻表

自 前橋 至 渋川

前橋市桑町片原

旅館

住吉屋

電話百〇七番

馬車鐵道

右上は、旅館が宿泊客用に印刷した汽車と馬車鉄道の時刻表の一部です。この時刻表は、明治43年（1910）4月に発行されましたが、同年10月には、前橋馬車鉄道（前橋－渋川、旧上毛馬車鉄道）は電化され、前橋電気軌道として営業を開始しました。

左上は、明治41年（1908）に長野市で開催された長野県主催連合共進会に行く人のために用意された乗車乗船賃割引証です。関東周辺の陸上交通機関として、上野鉄道株式会社、緑野馬車鉄道株式会社など群馬県内の会社名も記されています。

左下は、『前橋繁昌記』に載せられた上毛馬車鉄道の図です。

明治時代の初めの頃は、馬を使った交通が速い陸上交通手段でした。馬車鉄道とは、道路にレールを敷き、レールの上で馬車を走らせた乗り物です。群馬県内では、明治21年（1888）から営業が始まりました。碓氷馬車鉄道（横川－軽井沢）、上毛馬車鉄道、群馬馬車鉄道（高崎－渋川）、緑野馬車鉄道（新町－鬼石）、利根軌道（渋川－沼田）、吾妻温泉軌道馬車（渋川－中之条）の6路線がありました。後に、電化され路面電車になる路線もありました。